

2026年2月25日

各位

株式会社ドリーム・アーツ



**モスフードサービス、全国約 1,300 店舗に「Shop らん」を導入
～本部・店舗間の情報連携を最適化し、全社 DX を段階的に推進～**

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたび株式会社モスフードサービス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：中村 栄輔、以下 モスフードサービス）が、全国約 1,300 店舗における本部・店舗間コミュニケーション基盤として、多店舗オペレーション改革を支援するクラウドサービス「**Shop らん®**（ショッピングラン）」を導入することを発表します。

モスフードサービスは、2026年4月より「モスバーガー」や「マザーリーフ」など、フランチャイズ加盟店を含む全店舗で **Shop らん®**の本格運用を開始します。これにより、店舗現場の業務負荷を軽減し本部とのコミュニケーション精度を高めることで、チェーン全体の運営品質向上を目指します。

■ Shop らん導入の背景：環境変化に対応するための全社 DX の第一歩

モスフードサービスは、「おいしさ、安全、健康」という考え方を大切にした商品を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。近年、外食市場の変化や労働環境の多様化で海外出身のスタッフも増えるなか、店舗運営を取り巻く環境変化に対応するため、全社的なデジタル基盤の再構築を経営上の最重要施策として推進しています。

一方で、20年以上利用してきた基幹および周辺のスクラッチシステムが保守期限を迎えるなか、機能追加の積み重ねにより複雑化が進み、さまざまな業務で負荷が高まっていました。特に本部・店舗間のコミュニケーション領域では、PDF 中心のドキュメントにおける検索性の向上や Excel の転記作業などが課題となっていました。

そこで同社は、“Fit to Standard（標準に業務を合わせる）”の方針のもと、標準化できる領域を SaaS とし、モスバーガーならではの価値を生む領域をスクラッチ開発とする役割を再整理。基幹システムを含め刷新範囲が広いため、一度に全てを入れ替えるのではなく段階的に進める方

針を採用しました。その第一段階として、多様なスタッフが同じ水準で業務を理解・遂行できる環境整備を重視し、コミュニケーション領域の刷新を先行して進めることに。この先行領域においては、本部と店舗をつなぐベストプラクティスが確立されている **Shop らん**®の導入が最適と判断されました。

■ Shop らん選定の理由

複数製品を比較検討し、同社が **Shop らん**®を選定した理由は次のとおりです。

1. 本部・店舗間のコミュニケーションに最適化されたベストプラクティスを実現

Shop らん®は、本部・店舗のコミュニケーションに特化しており、情報の出し分けや既読・回答管理、優れた検索性など、必要な仕組みを標準搭載し、スマホからも手軽に利用できます。これにより指示・連絡の統一運用や店舗運営の標準化が進む点が評価されました。

2. 外国籍スタッフを支える AI 翻訳・AI ルビ生成機能

Shop らん®は AI 翻訳機能・AI ルビ生成機能^(※1)を備えており、外国籍スタッフにも利用しやすい点が評価されました。同社は海外出身スタッフ支援に取り組んでおり、とくにベトナム人スタッフの育成・採用プログラム「ベトナム カゾク」においても、本機能が現場での業務理解を支える仕組みとして有効であると判断されました。

【イメージ：AI でルビがついたお知らせ画面】



※1 外国人スタッフの育成が鍵！小売業の未来を支える AI ルビ生成機能とは

<https://shoprun.jp/news/blog/press20250611/>

3. 直営・フランチャイズを含む多様な店舗形態に柔軟に対応する「フランチャイズ法人機能」

Shop らん®の「フランチャイズ法人機能」は、本部・店舗間に加え、本部とフランチャイズ法人間、フランチャイズ法人と自社の店舗間の情報共有が可能です。多様な店舗形態を持つ同社において、本部からフランチャイズ法人を介して各店舗へ情報を届けるような流れに沿った情報配信と、フランチャイズ法人単位の管理を可能にし、確実な情報伝達を実現できる点が評価されました。

4. API 連携を活かした拡張性の高さ

Shop らん®は API 連携による機能拡張が可能であり、将来の基幹システム刷新を見据えた柔軟なシステム構成を実現できます。まずは本部・店舗間のコミュニケーション基盤のみを先行してクラウド化できるなど、同社の段階的なデジタル刷新の方針に沿い、無理なく移行を進められる点が評価されました。

■ 株式会社モスフードサービス 取締役上席執行役員

FC 事業本部長 兼 ストアイノベーション室担当 笠井 洸 氏からのコメント

当社は、20 年以上にわたり稼働したシステムのリプレースを機に、本部・店舗間のコミュニケーションのあり方を刷新しています。Shop らん®の導入により、情報の優先度や期限が可視化され、店舗とスーパーバイザーの連携がこれまで以上に円滑化することで、現場の「実行力」向上が期待されます。

また、スマートデバイスで手軽に情報を受発信できる環境が、好事例の共有や意見収集を加速させ、チェーン全体での知識活用を促進します。さらに、AI 翻訳機能は増加する外国籍スタッフの働きやすさを大幅に改善するでしょう。こうした変革が、現場が接客や店づくりに専念できる環境を創出し、お客様へのさらなるサービス向上に繋がると確信しています。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

■当社連結業績への影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。今後、業績予想を変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。



Shopらん®（ショッピングラン）について <https://shoprun.jp/>

Shopらん®は、チェーンストア業界市場シェア No.1^(※2) の本部-店舗間コミュニケーションに特化したクラウドサービスです。本サービスはイトーヨーカ堂やエディオン、すかいらーくなど幅広い業種・規模で採用され、導入店舗数約 60,000 店（海外含む）と数多くのお客さまにご利用いただいています。Shopらん®は、サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※2 富士キメラ総研「業種別 IT 投資/デジタルソリューション市場 2025 年版」2024 年度ベンダーシェアより

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。多店舗オペレーション改革を支援する Shopらん®、大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX®（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 金井、岡

TEL : 03-5475-2501 / 090-9149-3958 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。